

安全管理者を通じて研修を行い、周知に力を尽くしている。しかしルールを守らず、危険な運転をする者がまだ多くいる事も現実であると思ふ。

先月、大阪府そして堺市で自転車の取り組みを視察してきた。大阪府では「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が平成28年4月1日に施行され、自転車賠償保険等に関する規定については平成28年7月1日に施行予定となっていた。自転車が加害者となった事例「平成25年7月4日 神戸地方裁判所の判決では、小学5年生の親に対し、監督義務を果たしていないとの理由から9,500万円の賠償額を下した」ことを受け、「保険等の加入義務化」は現実的な取り組みであると私は実感した。

また堺市では「堺市自転車のまちづくり推進条例」が平成26年10月1日に施行され、ヘルメット着用推進に一定の条件を設けた「補助制度」も

既に行われている。自転車利用者の「保険加入」にも力を入れ、平成27年1月から9月までの半年間で38.9%から60.6%と21.7ポイントの大幅上昇を見せている。

本市としても自転車保険の加入状況やヘルメット着用状況等の実態調査をすべきではないかと考えるが、今後の取り組みについて所見を問う。

【市民局長】自転車のヘルメット着用推進については、これまでも交通安全教室などでその重要性を繰り返し訴えてきたところである。

自転車通学を認めている中学校のうち平成27年度より高砂、加茂、平成28年度より蒲町、広瀬、鶴が丘の各中学校でヘルメット着用が義務化されるなど一定程度普及が進んでいる。

提案のあった実態調査も含め、他都市施策の情報収集を行いながら、引き続き保険加入やヘルメット着用の重要性について広報、啓発を行って参りたい。

佐藤ゆきお 市議会通信 4

SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN
【泉区】IZUMI-KU

一人の声を
市政に
つなぎます
VOL.4

2016年8月発行

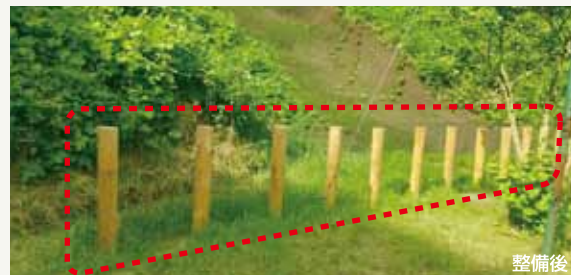
発行元 / 仙台市議会公明党市議団
仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1
TEL.022-272-4863
Email yukio@sendai-komei.jp
HP <http://sato-yukio.jp/>



佐藤ゆきお 日々の活動



整備前



整備後

●松陵3丁目法面崩落 整備(7月8日)

安全柵を設置し、崩れた法面は「緑地」にして参ります。9月15日から調査を行い、7月8日に完了しました。



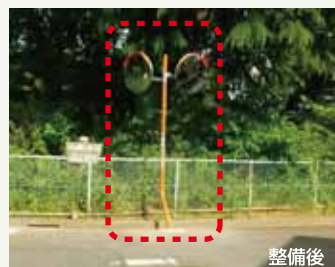
整備前



整備後

●七北田字菅間付近安全対策(6月15日)

視線誘導標を設置しました。12月18日から調査を行い、6月15日に完了しました。



整備後

●鶴が丘4丁目5付近既存カーブミラーに反対側追加設置(6月15日)

11月2日から調査を行い、6月15日に完了しました。



整備後

●南光台1丁目停留所付近カーブミラー設置(6月1日)

10月29日から調査を行い、6月1日に完了しました。

第2回定例会で一般質問。 取り組むべき課題について訴える!

皆様には日頃より様々な「声」を頂き、そして温かなご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

平成28年第2回定例会(6月10日~6月27日)が開催されました。今回の定例会では一般質問をさせて頂き、これから取り組むべき課題について訴えさせて頂きました。また今定例会におきましても、当会派の代表質疑で、東日本大震災より5年が過ぎましたが、「最後のお一人が生活再建、そして心の復興を成し遂げるまで復興は終わらない」との思いを再度、奥山市長へ訴えて参りました。これからも最後のお一人まで寄り添った復興の取り組みを進めて参ります。

また地域の皆様より頂きました安全・安心の取り組みへの「声」を実現するため、現場調査等の実施を本市部局と共に着実に推進して参りました。これからも皆様の「声」にお応えできる議員に一日も早く成長したいと、まさに無我夢中で日々の活動に取り組んでおります。これからも、何事にも全力で対応し、さらに「安心・安全」な街づくりを推進して参る決意です。

仙台市議会議員 佐藤 幸雄

プロフィール

昭和43年7月25日、仙台生まれ
昭和62年 仙台商業高等学校卒業
(硬式野球部OB)
平成4年1月 新日軽株式会社入社
(現・株式会社LIXIL)
平成27年4月25日 退社
平成27年8月2日 仙台市議初当選
妻・娘と3人暮らし
趣味: スポーツ観戦
好きな言葉: 努力

〈所属委員会〉
市民教育委員会、環境・エネルギー政策調査特別委員会
広報委員会

〈党役職〉
公明党宮城県本部青年局長
泉第2支部支部長
企業団体対策副委員長
広報企画局長

<http://sato-yukio.jp/>
SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN
VOL.4 2016.8



第2回定例会
一般質問
平成28年6月

高齢者を狙った特殊詐欺の急増を指摘。 八乙女交番設置に本市も努力すべき!

1.安全安心の取り組みについて

(特殊詐欺の削減等・交番設置に対する本市の対応)

【佐藤幸雄議員】宮城県警察本部の平成27年1月から12月までの本市内の刑法犯認知件数受理、状況データによると、9,756件となっており、年々減少傾向であると聞いている。

しかし犯罪は多様化、巧妙化してきており、特に高齢者等を狙った「特殊詐欺」は平成23年で認知件数26件、被害金額は5,980万円だったが、平成27年では暫定値ながら認知件数220件、被害金額7億4,481万円と、この5年間の件数では「約8.5倍」、金額では「12.5倍」と大幅に増加している。犯罪手口は日進月歩で進化し、県警も大変に苦慮していると聞いている。市民教育委員会でも本市のあらゆる情報発信ルートを活用して最新の手口を周知するよう求めてきたが、本市計画では平成32年度までに「160件以下」と成果目標を設定している。目標達成のために具体的にどのような取り組みを行うのか。また「特殊詐欺」は手口が巧妙なので情報の共有が重要だ。関連部局の連携はどのようにしているのか、合わせて問う。

【市民局長】特殊詐欺対策については、最新の手口等を広く市民の皆様にお知らせすることが肝要である。特に被害に遭いやすい高齢者に対しては、防犯出前講座などによる啓発活動を強化

している。今年度は講座の周知先を拡大し、既に例年のペースを上回る50件以上の申し込みをいただいているところである。

また関係部局との情報共有については、本年2月より県警から提供された特殊詐欺の情報を関係各課に伝達し、お問い合わせに適切に対応できるよう体制を整備したところである。

【佐藤幸雄議員】「子どもを対象とした声かけ事案等の発生状況」いわゆる付きまとい、公然わいせつ等については、平成23年では97件だったが、平成27年では251件と5年間で約2.6倍となり、また警察への相談・届出件数は年々増加している。本市計画では平成32年度までに「190件以下」と成果目標を設定しているが、具体的にどのような取り組みを行うのか聞きたい。

また女性が被害者となる刑法犯認知件数も平成25年までは減少傾向だったが、平成26年以降は増加傾向となっている。ストーカー被害対策は県警が主に行っているが、最近はSNSを利用した



付きまといで女性が刺される事案も発生している。今後の対策について問う。

【市民局長】子どもを対象とした声かけ事案等への対策としては、子どもたちが注意を要する場所を共有する「地域安全マップ」の作製マニュアルを全ての小学校に配付して作製を促進するとともに、地域の防犯活動に資するよう不審者等の情報を地域団体などに提供して参りたい。

次に女性を狙った犯罪への対策としては、市内及び近郊の大学等の新入学生に対してストーカーなどの女性が遭いやすい犯罪からの回避策をまとめた冊子を配布し、防犯への意識啓発を行っているところである。

今後こうした施策を、目標の達成に向けて鋭意取り組んで参りたい。

【佐藤幸雄議員】防犯に大きな抑止効果のある「交番の設置」について問う。昨年6月19日、住民代表と共に、「八乙女駅前に交番設置を求める要望書」を県警本部長に対し、1万3,730人の署名簿を添えて提出した。仙台市地下鉄「八乙女駅」周辺は人口増加が続いている一方で、女性や小学生などが不審者に追いかける事例など軽犯罪率も高く、すぐに相談ができる交番がない状況を説明し、「住民の安全・安心を確保するため、交番をお願いしたい」と強く求めた。対応した県警本部からは「多くの要望があることを重く受け止め、しっかり検討したい」との答弁があった。本市としても「八乙女駅周辺」についての治安をどのように把握されているのか問う。

また県警より、交番設置に伴い、「地下鉄八乙女駅」を中心としたエリアの市有地を提供して頂きたい旨の依頼があった場合、協力する意思はあるのか、合わせて聞きたい。

【市民局長】八乙女駅周辺は近年、痴漢や迷惑行為等が比較的多く報告されている地区である。泉区役所では昨年度から、八乙女地区を安全安心街づくりを積極的に進めるモデル地区として指定し、泉警察署や関係団体と連携しながら女性や子供の犯罪被害防止に重点を置いた防犯パトロールなどの取り組みを推進している。

交番の設置要望については全市で20カ所ほど

寄せられており、その実現については設置者である県警側の判断となる。様々な課題があるかと思うが、県警、関係部局と協議し、可能な範囲で必要な対応をとっていききたい。

2.自転車利用について

(自転車事故削減・保険加入、ヘルメット着用の実施調査)

【佐藤幸雄議員】宮城県警察本部による平成27年1月から12月までの仙台市内の自転車事故発生受理データによると、発生件数766件、死者数2名、負傷者数771名となっており、全体の事故件数の割合は発生件数で18.4%、死者数で10%、負傷者数で15%と一定の割合で自転車に係る事故が発生している事が分かった。

自転車に係る事故について、私は危惧すべき問題と感じているが、当局の認識はどうか。

本市では平成25年7月に「杜の都の自転車プラン」を策定。実施計画を更に加えた総合計画に仕上げてきた。その取り組みの「効果」について聞いたが「自転車事故件数の増減で取り組みの進捗を図る」との事だった。

事故件数の増減で取り組みの進捗確認を図ることは理解できるが、事故は限りなく「ゼロ」に近いほど良いので具体的な目標設定が必要だと私は考える。当局の所見はどうか。

【市民局長】ここ数年の市内の自転車事故は年々減少傾向にあるものの、今なお年間700件余り発生している。そのうち自転車側に何らかの法令違反が認められたものが200件余りあることは、さらに踏み込んだ対策が必要な状況であると認識している。

こうした事故の原因等を捉え、重大事故につながる危険運転の防止に重点を置いた広報、啓発を行うなど、より効果的な取り組みを進めていく。また「事故件数の減少」に数値目標を設定することについては、市民全員の思いは交通事故ゼロが究極の目標ではあるが、今年度、自転車プランの後期実施計画を策定する中で検討していきたい。

【佐藤幸雄議員】本市としても市立学校への研修、高齢者への講習会、更に企業向けには交通